



さかきっ子

学校教育目標

「かしこく・やさしく・たくましい
『さかきっ子』の育成」

《育てたい力》

考える力 協働する力 がんばり抜く力

研究授業が続いています。

3日は4年生算数科で180度をこえる角度の求め方を榎原先生が授業しました。児童は、180°に足して求めるやり方と360°から引いて求めるやり方の2つの方法で求めることができました。4年生の学ぶ意欲が大変高まっており、嬉しく思いました。



17日は、6年生道徳で「ブランコ乗りとピエロ」という授業を吉田里恵先生が行いました。ピエロがブランコ乗りのわがままも受け取れる行動について、広い心で受け入れ、サーカス団全体を高めていったことについて学習しました。この日は、前教頭の玉陵小学校の前田美幸教頭先生を講師として招聘し、ご指導いただきました。6年生の成長している姿を見て、たくさん褒めていただきました。



21日は、大津山先生が4年生理科で「とじこめた空気」について授業しました。はじめに空気の性質を出し合い、ピストンの実験器を使って、ピストンを押し縮めたら体積は、どうなるかについて、予想させた後、各自で実験をする授業でした。児童は、ピストンを押した手応えが大きくなることを体感し、ピストンの中の空気の状態を考えていきました。



22日は、英語専科の小坂先生が5年生英語「What do you want to study?」の授業をされました。5年生は、自分の好きな教科を友だちに紹介する際に、スリーヒン

トクイズにして、ヒントを英語で考えました。クイズを通して、教科の英語での言い方に慣れ親しんで覚えていきました。



また、同じ日にふれあい学級で榎原先生が、算数の「あまりのあるわり算」の授業をしました。

あまりの処理の仕方について、問題文に基づいて答を出すことの大切さに気付いていく授業でした。



24日には、3年生で石元先生が「あまりのあるわり算」の授業をしました。児童は、あまりの処理の仕方について、タブレットで丸図を囲みながら、あまりについて考えていきました。今回は、町学校教育専門指導員の寺田先生を講師として招聘しての校内研修を実施しました。



1日には、1年生の鴨川先生が、「長さ比べ」について授業をしました。具体的操作を伴った直接比較から念頭操作による間接比較へとつないでいく授業でした。

この日は、南関中の永杉校長先生を講師として招聘しての校内研修を実施しました。



永杉校長先生からは、「1年生が立派な態度で学習に参加していました。」と褒めていただきました。また、11月22日(火)に本校で実施する南関町学力向上研究発表会に向けての授業改善の方向についてもご指導いただきました。

